



# 荒川中だより

村上市立荒川中学校 平成26年度 第7号

平成27年3月3日発行 TEL 0254-62-3251

教育目標「めあてをもって 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

今年度も、「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健康な体づくり」の3つを柱にして、「生徒が生き生きと輝く学校」を目指してまいります。今年の合い言葉「今よりも 一歩前へ」

校長 長谷川 浩志

## 言葉について考えています

先日の全校朝会で、言葉について少し話しました。自分の名前を呼ばれたときの返事が、3年生は大きな返事ができていてよかったからです。また、最近LINE（ライン）やTwitter（ツイッター）等のSNS（ソーシャルネットワークサービス）をきっかけとした問題が起きたため、言葉について考えていたためです。

— 全校朝会の話しの概略 —

朝、車から降りて「おはようございます」と挨拶されたとき、何かポツと気持ちに火がともったように暖かく感じられる。先日、地域の方から、吹雪の中自分がたまたま電車で仕事に行かなければならなかったとき、その吹雪の中で中学生にあいさつしてもらった。それがうれしくてと学校に連絡してくれた人がいた。たった一言の言葉で、人間の心は温くなる。しかし、たった一言の言葉が、心を冷たくしてしまうこともある。残念なことだが、最近SNSを使った問題が起きている。

会話は相手に伝える65%は表情や目つきなど言語以外のもので、気持ちを伝えることで成り立つ。文字だけの世界でのやりとりは、誤解を生むだけでなく、言語以外のニュアンスが不足しているため、発した一言が大きなダメージを相手に与えてしまう。

特別な場面でなく、どのような場面や手段においても、自分の発する一言が相手の心に与える影響をしっかりと自覚して、責任をもった会話ができる人になってもらいたい。まずは、「あいさつや「ありがとう」といった心をつなぐ言葉から始めてみよう。心をつなぐ言葉を自分から投げかけ、コミュニケーションの輪を広げて、卒業式を迎えたい。

今、単語で話す人が多くなってきています。また、その単語も略されて話されています。そして、生徒たちは、その話し方が普通と思って話しをしているようです。このことは、小中連携の学習指導面での取組で、学習の基礎技能の定着を行っていますがその集計結果にも表れています。話し方の項目「場に応じた声の大きさで話す」「主語・述語を入れて話す」「立場を先に、理由をつけて話す」に対する評価と関わり方「聞いたことに対して自分の意見を話す」の項目で、教師の評価に比べて、生徒の評価が高く出てきています。

言葉は、人間関係を繋ぐ大切なものです。この言葉がいい加減になっていけば、当然自分の考えや感情が相手に伝わらないですし、誤解や相手の心を傷つけても分からないということになります。その結果、人間関係のトラブルとなったり、人間関係が結べない、続けられないということになりかねません。

こう考えていると、自分はもうどうだろうと後悔してしまいます。自分自身は、家庭に帰ってしっかりとした言葉遣いや挨拶をしているだろうか、子どもに話し方を注意できているだろうか。子どもの手本として機能しているのか不安になります。

SNSの問題も、この延長線上にあると思っています。表情や話し方のニュアンスもなく単語や単文で、十分に自分の考えや気持ちを伝えることはできません。会話の中でもできないことが、文字だけの世界でできるはずがありません。

裏面に、中学生の作文を載せました。校長室のドアにも貼ったのですが、一言の大切さを考えさせるものです。様々な通信機器がある時代だからこそ、もう一度言葉や会話について考えてみたいものです。



## 心をつなぐ言葉

いつのころからか、ぼくは家の中で、あまり話をしなくなってきていた。別に親が怖いとか、反抗しているわけではない。うっとおしいということでもない。なんとなくめんどくさい。

毎日、部活で帰りが遅くなり、習い事や宿題だ。体もくたくたで、眠たい。そんな中で、「今日はどうだった」と聞かれても、ついつい「まあまあ」とか「別に」と返事をしてしまう。そんなぼくのことを、母は「このごろ無愛想になってきたから、はりあいないわ」とも言う。「哲弥は、いつも一言足りやんな」とも言う。自分では普通のつもりなので、めんどくさいなあと思ってしまう。

そんな毎日の中で、ちょっとした出来事があった。祖母が病気になったのだ。ぼくの両親は共働きなので、ぼくたち兄弟は祖父母に小さい頃から世話になっていた。参観日も、運動会も、マラソン大会も、ずっと応援にかけつけてくれていた。食事や身のまわりの世話も、小さい頃からずっとだ。ぼくたちが大きくなるにつれ、当たり前だが祖父母もだんだん年をとってきた。しばらく体調が悪い日が続いたので、病院で検査を受けることになった。両親はすごく心配していた。ぼくも口には出さなかったが気になっていた。

検査の結果が出た日、帰るなりぼくは、「どうだった？大丈夫だった？」と聞いた。すると、祖母は、「ありがとう。たいしたことなかったよ。心配してくれてうれしいわ」と答えた。ぼくはひと安心した。あとから母に聞いたのだが、祖母はぼくがすぐにたずねたことを、とても喜んでいたので。この頃話をしなくなってきたぼくを、気にしていたとのこと。それなのに心配してくれてうれしかったと、涙ぐんでいたそう。

たった一言、たずねただけだった。当たり前のことを言っただけだった。たったそれだけのことを、そんなに喜んでくれたと知って驚いた。やっぱりぼくは、一言足りなかったんだ。母が言うのは、こういうことだったのか。心で心配したり、感謝したりしていても、黙っていると簡単には伝わらないんだと思った。それを初めて実感した出来事だった。

似たようなことは、毎日の生活の中でたびたび言われていた。忙しい中、栄養を考え、一生

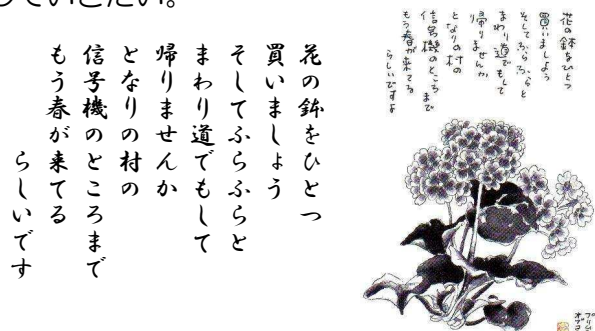
懸命作ってくれた食事でも「ありがとう」や「おいしい」という一言がすぐに出てこない。習い事の送り迎えにしても、当然のことのように思ってしまう。「助かるよ」とか「ありがとう」などと、めったに言わない。きっと、がっかりさせていたんだと思う。

今回のことで、言葉とか、会話が、とても大切だということを考えさせられた。会話することで、自分の気持ちをしっかり相手に伝えることができる。そして、相手の気持ちも理解できる。話をしないということは、相手とわかり合うチャンスを捨てているということだ。もちろん、話をしなくても、わかり合えることだってあると思う。家族や、仲のいい友達など、つき合いの深い人ならそうだ。だけど、今回のことで、それでも一言足りないと、伝わらないことがたくさんあるということがわかった。

同じ一言でも、「別に」とか「まあまあ」という言葉はどうだろう。言われた相手に、どんな心が伝わるのだろうか。この言葉では、何も伝わらなかったと思う。というより伝えたい心もなかった。お互いがわかり合うどころか、互いの心を切ってしまうような言葉だったのかもしれない。「どうだった」と聞かれ、ちょっとした出来事や思いを伝えることから、少しずつ通じることがあったと思う。それをぼくが「別に」と答えることで、会話は終わってしまったのだ。

一人ひとりが、ちゃんと心を通い合わせるために、大切な会話。言葉に出して、自分の気持ちを伝え合うことで、お互いがわかり合うことができるんだと思う。そうすることが、人間関係をよくしていくこと、そして、社会全体が明るくなっていくことにつながっていくんだと思う。

お互いの関係を切る言葉でなく、お互いの心をつなぐ言葉、これからは、そのことを大切にしていきたい。



【星野富弘さんが、口に筆をくわえて書いた花の絵と詩】

ふるさとの味  
笹団子づくり



家庭科の時間に、食推の方に来ていただき、2年生が笹団子を作りました。一つもらって食べました。本当においしくできていました。

第2回生徒総会



2月5日（金）に第2回生徒総会が開かれました。今年度の活動報告、決算報告が行われ、各学級で審議して出された質問を学級代表の人が堂々と質問していました。

新しい生徒会執行部組織ができました

みなさん、平成27年度の荒川中学校をよろしくお願ひします。



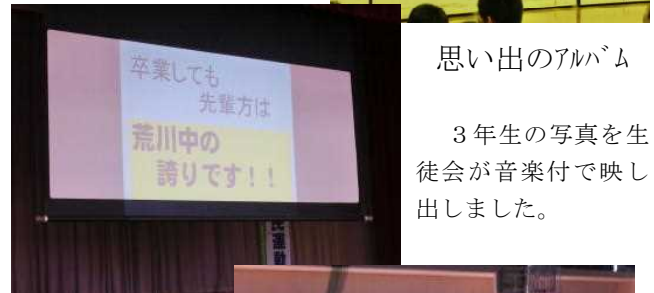
<平成27年度専門委員長>

生活委員長	山田 友菜さん（2年1組）
放送委員長	板垣 明里さん（2年3組）
広報委員長	臼井 遙大さん（2年2組）
図書委員長	小野 沙月さん（2年2組）
整備委員長	佐久間美咲さん（2年1組）
保健給食委員長	山田 佳織さん（2年1組）
福祉委員長	堀 芽生さん（2年3組）
体育委員長	山田 叶夢さん（2年1組）
応援委員長	齋藤 幹太さん（2年2組）

新役員の初仕事  
三年生を送る会・週間



会長挨拶



思い出のアルバム

3年生の写真を生徒会が音楽付で映し出しました。

激励応援

1・2年生がこの日に向けて昼休みに練習してきました。



激 励 応 援



副会長挨拶



応援団長の大きな堂々とした姿は、卒業生にとって、次代を任せることができる安心感を与えられたのではないかと思います。

卒業生諸君へ

中学校生活が終わります。3年間を振り返って、どんな思いを感じていますか？中には、入試を前に、「思い出どころの話ではない」と今を走っている人もいるかもしれませんね。

学校だよりといった公の紙面で、申し訳ないのですが卒業生の君たちに一言伝えたくなりこの部分を使わせてもらいます。

先日、PTA広報誌の校正が回ってきました。そこには、君たちの将来の目標が書かれています。その中の「人の役に立つ仕事」「人を笑顔にできる仕事」「親孝行したい」といった文字の多さに、私は一人校長室でうれしさと誇らしさを感じました。

君たちとの付き合いは、わずか1年間でした。しかも、授業にも部活にも出ていない、清掃も校長室は他の学年と、君たちとの接点はあまりなく、落ち着いた大人の学年だなといった印象でした。そんな中、今回この目標を見て「ああ、君たちはこの荒川中学校で成長してくれたのだな。精神的に自立し中学校を巣立っていくのだな」と思わず感動すら覚えました。

卒業生諸君、よく成長してくれました。私は、卒業式に「自立と貢献」という言葉を送ろうと考えていたのですが、既に君たちは、この言葉を心に持っていることが分かりました。

この先、君たちの一人一人の人生には多くのできごとがあるでしょう。いついかなるときでも、今の気持ちを礎として、充実した精一杯の人生を送ってください。期待しています。

荒川中学校 卒業おめでとう。お元気で！



3月から4月初めの予定

日	曜	主な行事予定
3/1	日	
2	月	2年生数学学力診断テスト 地区PTA理事会18:30～
3	火	1・2年Web学力向上テスト（国語） 1・2年Web学力向上テスト（数学） 生徒会代表協議会
4	水	1・2年Web学力向上テスト（英語） スクールカウンセラー来校日
5	木	3年生修了式、卒業式準備 公立一般選抜事前指導
6	金	第68回卒業証書授与式
7	土	
8	日	
9	月	全校朝会、2年生全国学テ練習問題 公立高等学校一般選抜
10	火	生徒会リーダー研修会① 公立一般選抜学校独自検査
11	水	スクールカウンセラー来校日
12	木	学年朝会
13	金	1・2年末保護者会（1:図書室、2:1FOS） 生徒会リーダー研修会② 公立高等学校合格発表
14	土	
15	日	
16	月	生徒朝会
17	火	PTA理事・評議員会18:30～ 生徒会リーダー研修会③ 給食最終日
18	水	この日以後部活動生徒は弁当持参
19	木	学年朝会、地区生徒会
20	金	生徒会リーダー研修会④
21	土	
22	日	
23	月	公立高等学校2次試験
24	火	終業式 公立高等学校2次合格発表
25	水	離任式（8:10登校、8:20開式） 春休み中部活毎に新入生歓迎ボランティア
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	
4/1	水	
2	木	
3	金	新入生事前指導
4	土	
5	日	
6	月	新任式、始業式
7	火	入学式準備、入学式